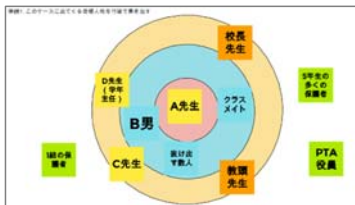
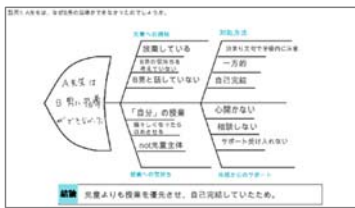


⑦教育学分野

学校の問題を分析し、 解決策を検討する ケースメソッドに ICTを活用した効果

創価大学 教育学部
舟生 日出男



話題提供の概要

■ 授業

- ・ 小学校教職課程2年次科目「学校研究」
- ・ 学校現場で生じ得る諸問題(学級崩壊、いじめ、など)を分析し、解決策を検討するケースメソッドを実践

■ 従来の問題

- ・ 学習成果物の共有・相互閲覧に難があった

■ 解決のためのICT活用

- ・ **Google Jamboard**: 内容の可視化を容易にする
- ・ **Google ドライブ**: Jamboardの共有を容易にする

■ 成果

- ・ 学生が学習成果物を**相互に参照**できるようになり、グループ内/間での**共有**を、従来よりも**促進**することができた

授業の概要

■ テーマ

- ・ 教員として学校で働くことへの理解深化

■ 授業概要

- ・ 学校の教師には、授業の設計・実施だけでなく、学級経営や児童の生活指導、援助、特別支援、保護者への対応など、様々な実践力が求められる。
- ・ しかし、**実践力を習得**するには、受動的な学習では不十分。
- ・ そこで、「何を」というコンテンツよりも、「どのように」というプロセスからの学びを重視した**アクティブ・ラーニング**を通して、自ら意識して実践力を身に付けようとする態度形成を目指す。
- ・ また、教職に進むなら何が必要なのか、自分にはそれらが備わっているのか、主体的に考える機会を設け、進路決定を促す。

3

授業の概要

■ 到達目標

- ・ 学校で起こりうる様々な**困難状況**、あるいは学校を取り巻く変化について、複数の理論や先行事例を踏まえて、**多角的に分析**し、何が**課題**か**判断**できる。(B+)
- ・ その分析から、**問題解決のための方策**を考え、解決するための**具体的な道筋**を想定できる。(B+)
- ・ 計画性のある学習を通じて、しっかり課題に取り組み、自らの学びを深めることができる。(B+)
- ・ 教員に必要とされる職能を理解し、自らの進路選択に役立てることができる(B+)

4

ケースメソッド

- 「ハーバード白熱教室」で日本でも一躍有名になった教育手法。正確には1921年にハーバードビジネススクールで誕生した教授法であり「ケースメソッド授業」と呼ばれ、いわゆる「**アクティブラーニング**」を実現するための手法。
- **ケース**に登場する主人公になったつもりで考え、クラスで議論。
- このケースに登場する主人公は何らかの**意思決定**に直面しており、もし自分が**当事者**であったならその状況でどう行動するかを考え、**グループ**で議論し、**クラス**で話し合う。
- 即座に発言するためには、事前に**ケース**を**予習**する必要がある。
- 受講者間の主体的な議論やロールプレイ等、参加者を主体とした学修体験を追求し、**世界観・視野**を広げることを目標とする。

ケースメソッドとは 名古屋商科大学

<https://www.nucba.ac.jp/active-learning/entry-18521.html>

5

ケースの例1 – 学級崩壊の噂が出始めた担任と児童との関係を考える –

A先生は45歳の小学校の女性教師であり、校内でもベテラン教師の一人とみなされていました。5年1組の担任ですが、最近は、学級の子どもたちとの関係がしっくりいかないし、子ども同士の仲が、とげとげしくなっているように思っていました。授業中にも私語が目立ちはじめ、内心では、「授業がやりにくいなあ」と感じていたのです。

なかでも、他の児童に比べて体が大きなB男は、学級ではボスの存在でした。学級の誰もがB男に言われると、逆らうことができなかったのです。B男は授業中でも、「先生、トイレ」と言って、教師の許可も得ずに、勝手に教室を出て行く始末でした。A先生は、あえて注意をしないで黙認をしていました。そのうちに他の子どもたちがB男の真似をして「トイレ」と言って、授業を抜け出し始めました。それでもトイレに行くのは、限られた子どもたちでしたので、A先生は、「トイレは休み時間に行っておきなさい！」と、決まり文句を単に学級内で話すだけでした。

こうした状況が1学期の終わり頃から頻繁に見られていましたが、A先生はそのことをそれほど気にしていない様子でした。しかし2学期の中頃になると、子どもたちの出入りが多くなり、收拾がつかない状態になってしまいました。数人の授業中の出入りをきっかけにして、授業自体が正常にできない状況にまでなっていました。その結果、学級は落ち着かない騒々しい状態に陥ってしまったのです。担任が注意と指導をしても、なかなか収まらない状況の時もありました。

そのような1組の子どもの様子は、隣の2組のC先生も気づいていたのです。授業中に数人が出歩いていたので、「あなたたちは、何をしているの。今は、授業中でしょう！早く教室に戻りなさい」と強くしかったこともあります。子どもたちは、C先生の指導にはしぶしぶがって、教室に戻って行きました。でも、1組の子どもの態度は、一向におさまらなかったのです。

C先生は心配して、A先生にアドバイスをしましたが、A先生は「大丈夫ですから、心配はありません」と答えるだけでした。C先生も1組の支援ができる状況ではないことを察して心配をしていました。でも肝心のA先生が心を打ち明けないし、こちらからのサポートを受け入れられないようなので、困っていました。でもこうした状況は学校全体に関わる大きな問題になるだろうと予測しましたので、学年主任のD先生と教頭先生に報告した方がいいと考えた矢先のことでした。

ちょうど時を同じくして、1組の子どもが担任の指導に従わないという噂が広まったのです。それはPTA役員や1組の保護者に知れ渡ることとなりました。学級が崩壊し、授業が正常に成立していないという噂でした。A先生も噂については、かなり神経質になっていました。でもそうした事情は、まだ校長先生の耳には入っていませんでした。校長先生もしばらくは気づいていなかったのですが、やがてそのことは5年生の多くの保護者が知ることとなったのです。それは直接に校長先生へのクレームとなって表面化したのでした。1組の保護者数人が、校長室に押しかけ、担任を変えてほしいと要求してきたのです。

校長先生は、保護者の言い分を聞きましたが、担任を変えることはできない旨を伝えました。その後、教頭先生から1組のことを聞き、その実態が分かるにつれて、校長先生は何となくさすはらいはけないと真剣に思い始めたのです。

6

ケースの例1 - 学級崩壊の噂が出始めた担任と児童との関係を考える -

- 設問1 A先生は、なぜB男の指導ができなかったのでしょうか。
- 設問2 A先生は、どうしてC先生のアドバイスを受け入れなかったのでしょうか。
- 設問3 保護者がクレームを言って来るまで、校長先生はどうして気づかなかったのでしょうか。
- 設問4 1組の状況を改善するには、どのような手立てを取ればよいのでしょうか。

川野司(2012) 教師のためのケースメソッドで学ぶ実践力, 昭和堂



7

ケースの例2 - 子どもをコントロールできなくなると、応援を求める先生がいる -

あなたは、小学校で体育の専科教員をしています。授業の空き時間、職員室で仕事をしていると3年生を担当する年配の先生から電話がかかってきました。「今、図画工作ではさみを使った作業をしています。ところが何人かの児童が走り回っています。危険なので応援に来てもらえませんか」というものでした。教頭先生からは、「ちょっと様子を見にいらしてもらえませんか。あの先生からは毎日このような応援依頼があります」と言われました。あなたは、このような状況をどのように改善しますか。

- 設問1 この年配の先生はどんな人でしょうか。
- 設問2 このような状況になった原因として、どんなことが考えられますか。
- 設問3 どのように状況を改善しますか。

赤井悟, 柴本枝美(2014), 教師力を鍛えるケースメソッド123: 学校現場で生じる事例とその対応, ミネルヴァ書房



8

学修活動の概要

■ 実施回

- 15回の授業の内、計6回で実施：第4～6, 11～13回

■ 活動の流れ

1. 個人での予習：
 - ケースを読み、分析する
2. グループでの共有・討議
 - 予習の成果を持ち寄って共有する
 - 問題の分析や解決策について討議する
3. クラス内での共有
 - グループの成果を発表、質疑・応答し、共有する

9

コロナ禍以前の活動実施状況と問題点（～2019）

■ まとめるための媒体

- 紙（ワークシート）

■ 問題点

- グループ内の共有が困難
 - ➡ コピーしないとグループの成果物を持ち帰れない
 - ➡ 他の学生の予習課題にアクセスできない
 - ➡ 結局、学習成果物がある場限りとなってしまう

10

ICT活用によるオンライン対応 (2020, 2021)

■ まとめるための媒体

- Google Classroom, Google ドキュメント(ワークシート)

■ 問題点

- Google Classroomの仕様が一斉講義型
＝「教師 対 個々の学生」の課題の提出・採点・返却
 - ➡ 学生間の共有(相互の参照)が困難
- Google ドキュメントでは、文字のみによる表現になりがちで、内容を把握しづらい
 - ➡ 文章で表現することが暗黙の前提となってしまった上に、手書きのように手軽に表現できない
 - ➡ やはり、学習成果物がその場限りとなってしまう

11

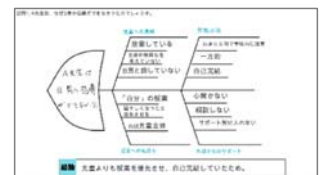
今年度の改善 (2022)

■ まとめるための媒体

- Google ドライブ, Google Jamboard, シンキングツール

■ 改善点

- 個人の予習、グループでの討議をJamboardで
 - ➡ KJ法的な表現や図的表現が容易に
 - ➡ グループ用のJamboardに、全員で同時に書き込める
- Jamboardはクラス全体で共有(Google ドライブ)
 - ➡ グループ内・間で、学生が相互に参照可能
 - ➡ 学習成果物をその後の学習活動において活かせる
 - ➡ アクティブ・ラーニング、理解進化の促進

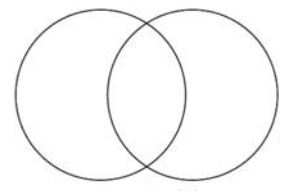


12

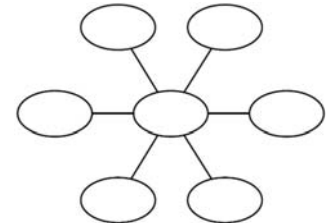
シンキングツール（図的表現）

■ シンキングツールの役立て方

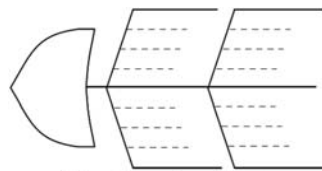
- ① アイデアや問題を視覚化するため
- ② 考えや情報を整理するため
- ③ 考えをすぐにフィードバックするため
- ④ 学んだこと同士のつながりを明確にするため
- ⑤ 意見を友達同上で共有するため
- ⑥ 知識を新しく作りあげるため
- ⑦ 考えを評価するため



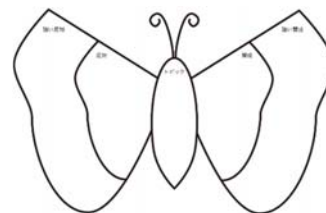
2 ベン図



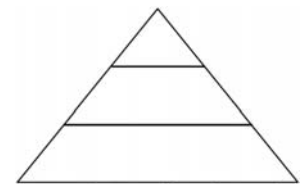
3 イメージマップ



16 フィッシュボーン



18 バタフライ・チャート

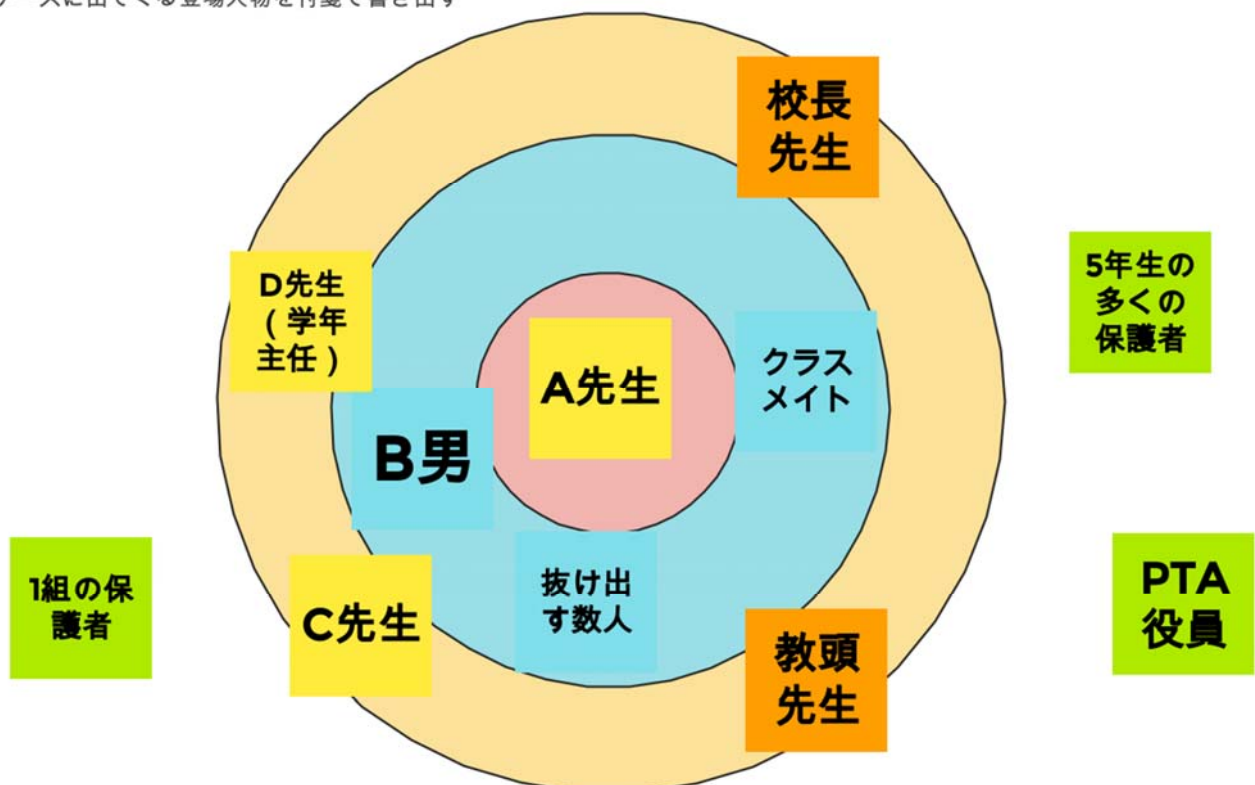


15 ピラミッド・チャート

シンキングツール～考えることを教えたい～ 黒上晴夫・小島亜華里・泰山裕
http://ks-lab.net/haruo/thinking_tool/short.pdf

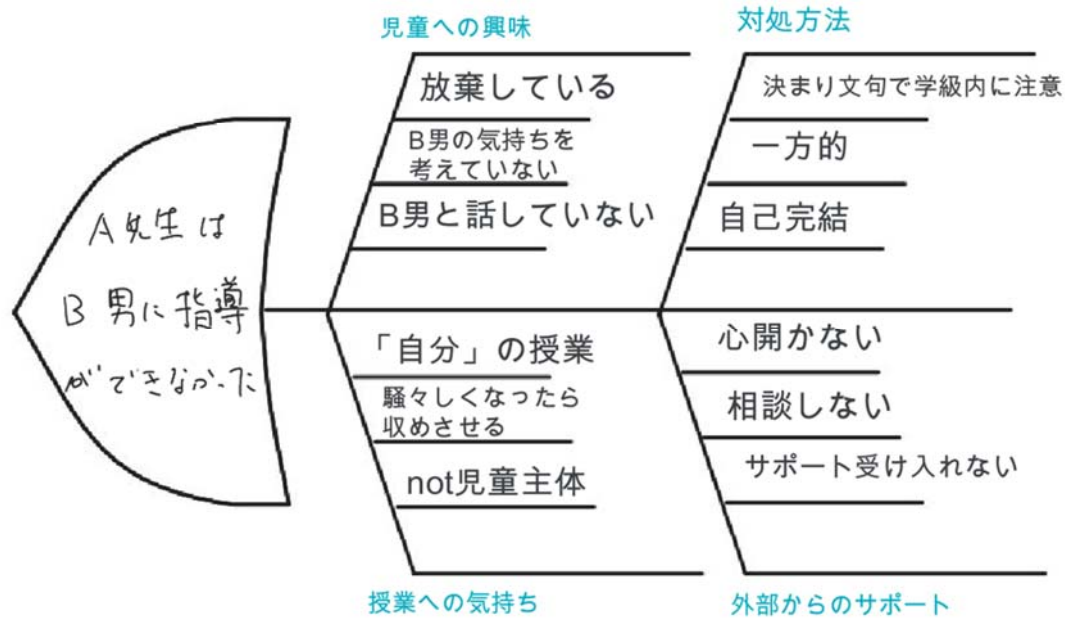
Jamboard（予習の例）

準備1. このケースに出てくる登場人物を付箋で書き出す



Jamboard (予習の例)

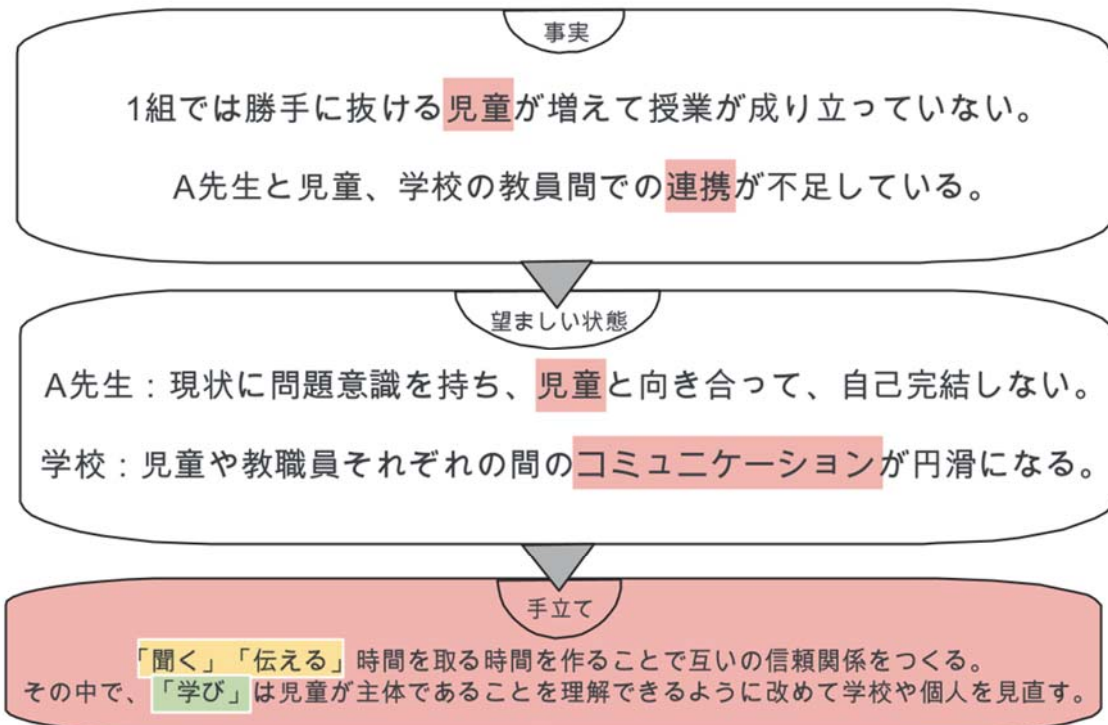
設問1. A先生は、なぜB男の指導ができなかったのでしょうか。



結論 児童よりも授業を優先させ、自己完結していたため。

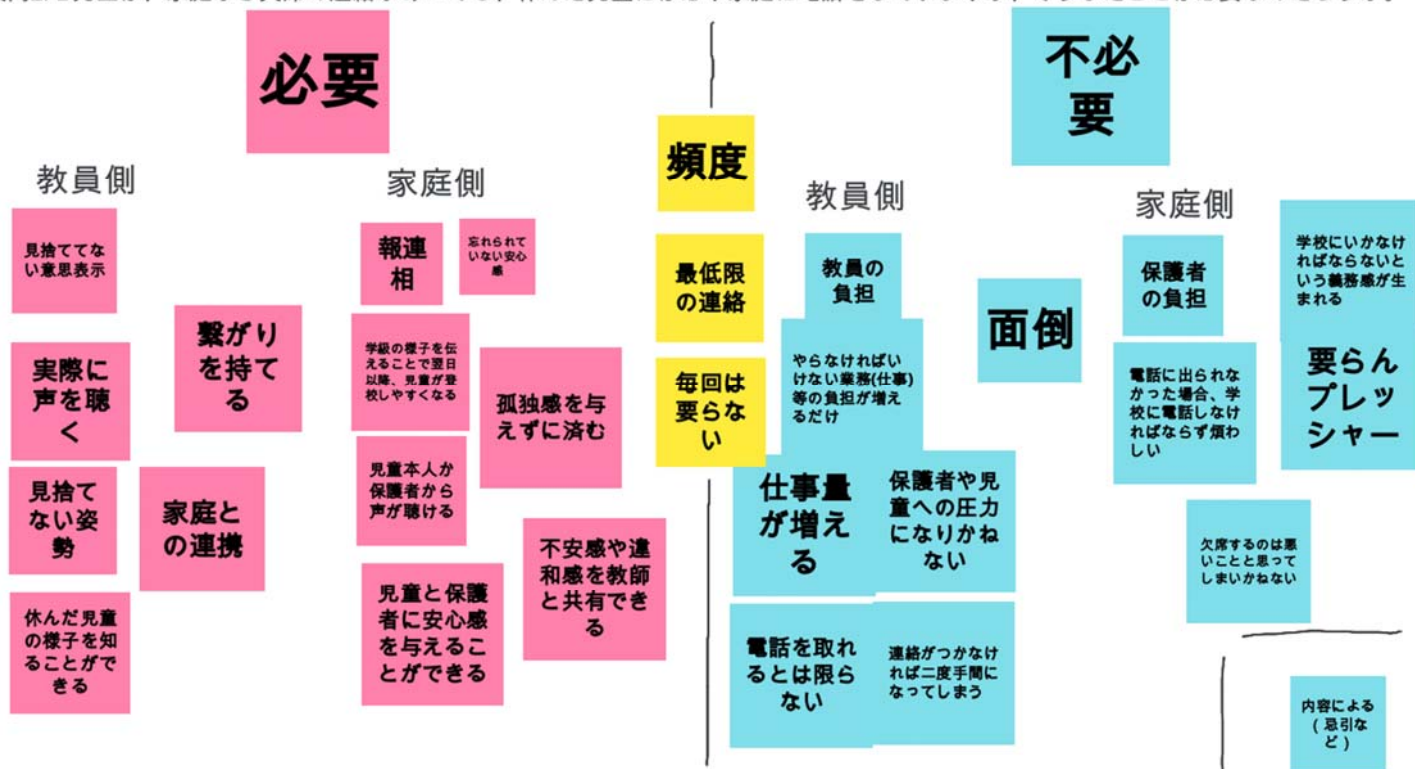
Jamboard (予習の例)

設問4. 1組の状況を改善するには、どのような手立てを取ればよいでしょうか。※前のフレームまでの作業を総合して考える



Jamboard（グループによるまとめの例）

設問2. B先生は、家庭から欠席の連絡があっても、休んだ児童には必ず家庭に電話をしていますが、そうしたことは必要なのだろうか。



今年度の問題点

■ 新たな問題点

- 個人用、グループ用のJamboardをひな形からコピーして用意するのが面倒
 - Google App Script でコピーを自動化することで手間を解消
- 学生たちの善意を前提に、クラス全体で共有している
 - 悪意のある学生がいると破綻する
 - = 消す、書き換える、盗用する、などが容易にできてしまう。
 - 操作・編集履歴を容易に確認できる、アクセス権を柔軟に変更できるといった仕様の変更が望まれる

Google App Script (GAS)

```
let dstFolderId = "1XHyabJbpNDn10g_hk-LjKD4heb1b1Ih9";
let srcFileId = "1r4ZZJe91Qjs7jRRD9IPafd4xtaL8crLjeaBuG-eWeYM";
let srcFileName = "学校研究-振り返り-授業中";
let dstFolder = DriveApp.getFolderById(dstFolderId);
let srcFile = DriveApp.getFileById(srcFileId);
let copyType = 1; //各学生分をコピー

if (copyType == 1) { //全学生分をコピー
  for (let i = 0; i < names.length; i++) { //names配列は別途、宣言
    let dstFileName = srcFileName + "_" + names[i];
    console.log(dstFileName);
    var file_new = srcFile.makeCopy(dstFileName, dstFolder);
  }
} else if (copyType == 2) { //全グループ分をコピー
  for (let j = 0; j < 2; j++) {
    let room = j == 0 ? "B304" : "B403"; //2つの教室に分かれて活動したため
    for (let i = 1; i <= 8; i++) {
      let gid = 'G' + (Utilities.formatString("%02d", i));
      let dstFileName = srcFileName + "_" + room + "-" + gid;
      console.log(dstFileName);
      var file_new = srcFile.makeCopy(dstFileName, dstFolder);
    }
  }
}
```

19

まとめ

■ ケースメソッドによるアクティブ・ラーニングにICTを活用

- **Google Jamboard**: 内容の可視化を容易にする
- **Google ドライブ**: Jamboardの共有を容易にする

■ 成果

- 学生が学習成果物を**相互に参照**できるようになり、グループ内/間での**共有**を、従来よりも**促進**することができた

20